



## ひかりのこつうしん No.5

2024. 9. 30

ひかりの子幼稚園

『認定こども園 ひかりの子幼稚園の役割と使命 ～子育て支援～ 』

ひかりの子幼稚園には創立以来「育自のひろば」という保護者の集まる場があります。「皆で読書をし、牧師のお話を聞き、子育てに関する悩みや知恵を交換して思いを語り合うことを通じて、保護者が繋がり成長すること」を目的としています。その前身は40数年前、聖書を学びたい保護者が教会に集まり聖書研究会が発足、その後、何度かの変遷を経て今の形になりました。

9月の「育自のひろば」では、『毎日の育児、家事、息抜きどうしていますか？』というテーマでグループディスカッションが行われました。

- ✦ パパの帰宅までに片付けが追い付かなくて、散らかっているリビングを見て少々ゲンナリしているパパの顔を見ると、少し申し訳ない気持ちになる
- ✦ そうかなあ？この散らかしに至るまで日中母子がどんな生活をして、どんな葛藤をしてこの現状になったのかを定点カメラで見てほしい笑。そうすればゲンナリなんてできないよね
- ✦ 時間が出来ても自分の趣味がわからない、何がしたいのか？何が好きなのか？考える余裕がない
- ✦ 家の片付けなど死ぬほどやらなければならないことはあるけれど、片付けでなくもっと意味あることをしたい。でも何をしようかと考えている間にお迎えの時間が来る
- ✦ 子どもを親に預けて、大好きなアーティストのコンサートに夫婦で行くことが最近の息抜き。好きな歌を体中に浴びて帰った後はリフレッシュ、心が充たされてすごく子どもがかわいく見える
- ✦ 味噌汁を山のように作り、翌日は水をつぎ足し、具をつぎ足し2日間食べる
- ✦ それ、いいね、私もやってみよう

笑いあり、涙あり、ワイワイお茶を飲みながらお話は尽きることがありませんでした。

また、時期を同じくして行われたキンダーカウンセリングの小林先生の教育講演会では『毎日お子さんのこと、おうちのことでお忙しくされていると思いますが、皆様はどんな風にご自身のケアをされていますか？』と尋ねられました。その後のグループディスカッションの中で

- ✦ こういうなんでもない話が出来ることが自分を解放できる時間になったり、自分だけが悩んでいたのではなかったと気持ちが楽になる
- ✦ 子どもが寝静まった後、撮りためていたドラマを観ることがリフレッシュになっている

✚ 園庭開放の時間にママ友と仲良くなり、おしゃべりすることが楽しい時間になってきたなどのお声がありました。

小林先生は講演会の最後に『ご自分を支える器を持ち、充電できる時間があればいいですね。ご自分をケアすることがお子さんをケアすることに繋がります。ご自分を大切に、愛して下さいね。』という言葉で結ばれ、会場は温かな空気で満たされました。

地域での繋がりが希薄になり、周囲に相談する人がおらず、育児に悩む保護者がたくさんいらっしゃると思います。子育て親子が安心して交流する場所、育児について学べる場所、悩みを相談できる心の拠り所が近年益々必要性を増してきていることを感じています。

学園理念である「心豊かに生きる力を身につけられるようひかりの子に関わる子ども、保護者、保育者等すべての人がともに成長すること」を願うと共に、親子の育ちを支える「子育て支援」の役割を、ひかりの子幼稚園が地域の中で担っていかねばならないという使命もひしひしと感じています。

ひかりの子幼稚園では

- 在・卒園児対象：育自のひろば・放課後園庭開放・キンダーカウンセリング・子育て相談
- 未就園児対象：育児のひろば・ナースリークラス・地域あそぼう会・地域園庭開放(午前)・地域おめでとう会

などの子育て支援活動を行っています。ぜひご利用下さい。(詳しくは職員室まで)

次回「育自のひろば」は11/27(水)です。初めての方も大歓迎です。ぜひ皆様のご参加お待ちしております。この日は幼稚園の子どもに大人気の「天然酵母ブレッチェンさん」のパンランチを準備しています。昼食を食べてお迎えの時間までお過ごしください。お弁当持参も自由。(要申し込み350円、子ども200円、後日申し込み用紙配布いたします。)

ひかりの子幼稚園 園長 松本 直子



教育講演会の様子



育自のひろばの様子